



日本学術会議主催学術フォーラム

中高生と考える『Future Earth と学校教育』

平成 29 年 9 月 3 日(日) 13 時～17 時

主 催 日本学術会議

場 所 日本学術会議講堂(東京都港区六本木 7-22-34, 地下鉄千代田線乃木坂駅青山霊園出口)

申 込 参加費無料。直接会場においでいただけますが、なるべく事前にお申し込みください。

持続可能な社会を目指す国際プログラム Future Earth では、科学と社会の協働による Co-design, Co-production の推進が強く求められています。その Future Earth の理念を具体化する学校教育はどのように進めればよいのでしょうか。本学術フォーラムでは、研究者および学校の教員と生徒が、学校で取り組むべき地球環境問題の事例及び取り組みの実践例、成果、課題などについて報告し、それらを基に、Future Earth に関わる学校教育の課題、科学と学校教育とのつながりの強化及びそれと関連する問題の克服などについて皆で考えます。中学生以上なら誰でも参加し、発言できます。

プログラム

総合司会：宮寺晃夫（日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授）

13:00～13:10 開会挨拶、趣旨説明

氷見山幸夫（日本学術会議第三部会員、北海道教育大学名誉教授）

13:10～13:30 資源・エネルギー問題と学校教育

田路 和幸（日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院環境科学研究科教授）

13:30～13:50 食の問題と学校教育

小金澤孝昭（日本学術会議特任連携会員、宮城教育大学名誉教授）

13:50～14:10 環境の改善や保全と学校教育

田中 邦明（日本学術会議特任連携会員、北海道教育大学教育学部函館校教授）

14:10～14:30 Think globally, act locally：海洋マイクロプラスチック問題をもとにして

小松 輝久（日本学術会議特任連携会員、横浜商科大学商学部教授）

14:30～14:50 社会参画から持続可能な社会の担い手を育む～女子中高生の海底ごみ問題への挑戦～

井上 貴司（山陽女子中学校・高等学校教諭）、中原舞子・鞆沼真生（高校2年生）

14:50～15:00 休憩

15:00～15:20 学校教育に位置づけた海洋教育の拠点形成とカリキュラム開発

日置 光久（日本学術会議特任連携会員、東京大学海洋教育促進研究センター特任教授）

15:20～15:40 生物を活用した環境改善への一考察

佐々木義秀（東京都立科学技術高等学校教諭）、長山昇太郎、古原一樹、坂本昌也、関根幹弥（3年生）

15:40～16:00 環境にやさしい発電装置の開発

田中 義靖（東京都立戸山高等学校教諭）、河口祐葵・鎌田玲菜（2年生）

16:00～16:10 休憩

16:10～16:55 ディスカッション

司会：山口しのぶ（日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授）

16:55～17:00 閉会挨拶

花木啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、東洋大学情報連携学部教授）



田路 和幸 小金澤孝昭 田中 邦明 小松 輝久 井上 貴司 日置 光久 佐々木義秀 田中 義靖

問い合わせ・参加申し込み先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34 電話：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260
申し込みフォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0067.html>

(背景写真:仙台市蒲生付近の3.11津波被災跡地)